

特定非営利活動法人

さがみはら市民会議 会報

2013年3月

トークサロンこの1年

さがみはら市民会議では、ネットワーク委員会の手で「トークサロン」が開催されています。トークサロンは市民と市民をつなぐ市民会議らしいユニークな試みです。様々な市民が出会い、交流を深めることができました。今年度も会員の皆さんにもお知らせしたいと思いい報を発行します。来年度こそ是非ご参加を！！

今年のトークサロン一覧

	開催日	テーマ
第41回	7月14日(土)	いま藤野がおもしろい！！
第42回	10月6日(土)	草の根の国際交流
第43回	12月8日(土)	被災地支援活動の実際
第44回	3月23日(土)	企業の社会貢献

第41回 (参加者36人)

いま藤野がおもしろい！！

～地域にもともとある資源を活用した等身大の持続可能な社会へ～

開催場所：里山長屋（相模原市緑区名倉2808-8）

参加人数：ゲスト2人、一般10人、会員4人、学生20名

トランジション藤野の榎本英剛さんと里山長屋住民の小宮山佳江さんをゲストに、活動場所である緑区名倉にある里山長屋を会場にお借りして開催しました。活動のコンセプトは「脱依存」をめざし、市民が自らの想像力を発揮しながら、地域の底力（変化に対応して柔軟に対応できる力）を高めるための実践的提案活動をしています。提案活動の中には、「里山長屋」のほか、「地域通貨よろず屋」、「森部」、「お百姓クラブ」等があります。トランジション活動は2006年にイギリスで始まり、日本では約30ヶ所、世界では約1800ヶ所で活動しているそうです。里山長屋には年齢構成も異なる4家族が

住んでおり、地産地消を原則として、自給自足をめざして、「持続可能な暮らし」を実現するため、「シェ



アリング」、「地域との繋がりが」、「循環する仕組み」、「情報発信」等、色々な工夫をしながら暮らしています。途中から市民活動の見学バスツアー中の法政大学のゼミの学生も合流して、5つのグループに分かれて意見交換しました。東日本大震災後、共感する人たちが急増したとの報告は印象的でした。（滝口）



第42回 (参加者23人)

草の根の国際交流

開催場所：プロミティふちのペビル 2階D会議室

参加人数：ゲスト3人、一般16人、会員4人

相模原市の外国人市民として、市民の皆さんと共生するために日本語の学習に励んでいる鄭紅さん（中国）、タチアナさん（ロシア）、藤野さん（タイ）の3人をゲストに、日本と自国の習慣の違いや、日本に来て驚いたことなどを話していただきました。

中国は昔に比べ、格差が拡大し、汚職も多くなり、役所への手続きも時間がかかる様になったとのことでした。また、中国では夜暗くなったら女性ひとりでの外出は危険でできないが、日本は治安が良く、食や環境の安全が



守られていて暮らしやすいとの感想がありました。タチアナさんは民族衣装の赤いサラファンに身を包み、来日

3年半ですが、上手に日本語を話します。日本に来て、初めて蟹みそと雲丹を食べたが美味しかったそうです。藤野さんは、ウォシュレットやタクシーの自動ドア、ATMに驚き、日本人は我慢強く、順番を待つことに感心したそうです。

一般参加者は16人と多く、参加者からの質問を受けながら話を進めました。国交的には諸問題ありますが、政治問題には触れず友好的に交



流ができて良かったと思います。国が違えば、話の内容も異なり、いつもカルチャーショックの様なものを感じます。日本人とは異なる考え方、感じ方を理解しないと本当の意思疎通はできないと思いました。(益子)

第43回 (参加者9人)

被災地支援活動の実際～市民による市民のための～

開催場所：けやき会館 4階第2中会議室

参加人数：一般 4人、ゲスト2人、市民会議 3人

事前に2件問い合わせがあり、その2名の方の参加がありました。一般の方の参加が少ないのは残念ですが、1名の方は福島県の飯館村の支援活動を始められたとのことで、話題を提供していただきました。サポセンの登録団体に所属していらっしゃる、今後も被災地支援で横のつながりを持つと、連絡先を交換することができました。



大船渡支援相模原市民ボランティアの会の藤田さんと大船渡市復興支援活動有志として、個人で活動

している笹本さんをゲストに東日本大震災の復興支援活動の実際についてお話していただきました。

ゲストの笹本さんの話が予定の倍くらいの長さとなりましたが、あえて中断はしませんでした。被災地の支援を知るということは、説明そのものの中だけでなく、行間からあふれるものを共有することのよ



うな気がしたからです。時間が延び延びになってしまいました。ゲストお二方のお話をきいて、むしろ、これから被災地支援の正念場というか、遠く離れた地での注意喚起は必要ではないかと思いました。そして、同時に、淡々と息長く被災地とつながっていきたくと思いました。出向くことができない人はとにかく「買う」。できれば、被災者にそのままお金が落ちるようなものを「買う」。今までも心がけていましたが、更に積極的になろうと思いました。(鹿野)

第44回 (参加者13人)

企業の社会貢献

～市内の企業の社会貢献活動についての考え方や実施している実際の活動を紹介し～

開催場所：さがみはら市民活動サポートセンター 会議室

参加人数：ゲスト2人、一般5人、会員6人

(株)イトーヨーカドー古淵店の桜井高房さんと相鉄不動産販売(株)こち湯広告・イベント担当の市村彰(株)ネット)さんをゲストに、それぞれの企業の社会貢献活動に



ついて、お話いただきました。イトーヨーカドー古淵店では、商品を並べて

置くだけの待ちの姿勢から積極的に集客を図る努力をしており、1年前からセンターコートイベント広場として、開放している。イベント広場では、絵画展やおもちゃの病院等を開催し、外のステージでは、フリーマーケットやよさこいまつり等を開催している。こち湯では3年前から、さがみはら市民活動サポートセンターのパネル展示とワークショップイベントのためのスペース提供を始め、それに付随するイベント告知等の広報にも協力している。さがみはらパーソナルサポートセンターとは、就労を目指す若者達への職場体験受け入れを半年前から開始した。その他にも多くの市民活動団体とイベントの企画段階からコラボしている。

相模原市内の企業の社会貢献活動が、さがみはら市民活動サポートセンターを中心に着実に進んでいることが確認できた。(神田)



★★★★★★★★★★★★

今年度も会報をお届けします。毎年言っていますが、トークサロンは参加してみると良さがよくわかります。思わぬ出会いがあって、細やかな情報に触れることができます。年に4回、開催していますので、何回でもいいです、参加してみてくださいね。(T.N.)